



もとみや

議会だより

第 38 号

平成27年4月発行

今日から小学生！  
(本宮小学校入学式)

新年度予算審査..... P. 2~5  
議案審議 (新副市長・教育長を選任) ..... P. 6~7  
意見交換会での意見・要望を提出しました..... P. 11

●今回の表紙の題字は、本宮小学校の1年生に書いていただきました！

※ H27. 3. 31の住民基本台帳人口30,790人

# 5億4,700万円 の使い道は

## 教育費 22億4,647万円

市民一人当たり 7万2,961円

3



学校教育や文化芸術に

## 衛生費 207億8,858万円

市民一人当たり 67万5,173円

1



放射能対策や健康・環境衛生に

### 総務費 14億9,388万円

市民一人当たり 4万8,518円

職員人件費や各種計画に

### 土木費 10億7,209万円

市民一人当たり 3万4,819円

道路や河川・公園整備に

### 公債費 9億9,551万円

市民一人当たり 3万2,332円

借金返済に

### 商工費 7億7,140万円

市民一人当たり 2万5,054円

商工業・観光振興に

### 農林水産業費 6億2,648万円

市民一人当たり 2万347円

農林業の振興に

### 消防費 5億8,803万円

市民一人当たり 1万9,098円

消防・防災に

### 議会費 1億9,429万円

市民一人当たり 6,310円

議員報酬・議会運営に

### 労働費・予備費等 8,612万円

市民一人当たり 2,797円

## 民生費 36億8,415万円

市民一人当たり 11万9,654円

2



子ども・高齢者福祉に

# 27年度 予算

# 一般会計 2年連続過去最大 32

市民一人当たり  
約106万円!

僕たちの将来のために使ってね!



3月定例会は次年度の予算を  
審議する大切な議会です

糠沢幼稚園入園式

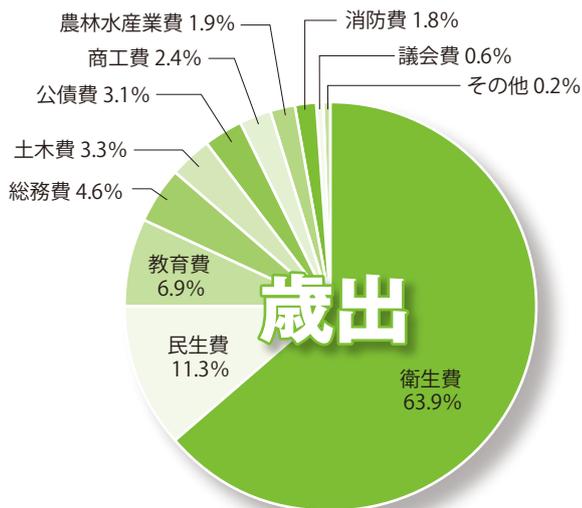
予算編成方針  
「定住からはじまる  
住みたいふるさと」

もとみや創生」

お年寄りから小さな子どもたちまで市民の誰もが、笑顔で安心して暮らせる「住んで良かったと思えるもとみや」を実感できることを目標として、市は、平成27年度は特に次のことに力を入れていくこととしています。

- ・放射能対策
- ・本宮駅東西アクセス整備
- ・五百川駅前広場整備
- ・子育て支援
- ・教育施設整備
- ・妊産婦支援
- ・定住促進
- ・工業団地整備
- ・白沢総合支所周辺整備
- ・道路・橋りょう整備
- ・復興公営住宅整備

このような事業を実施していく上で、地域・市民・行政が一体となった協力関係を築きながら、さまざまな事業を複合的に実施し、市民サービスの向上に努めていきたいと考えています。

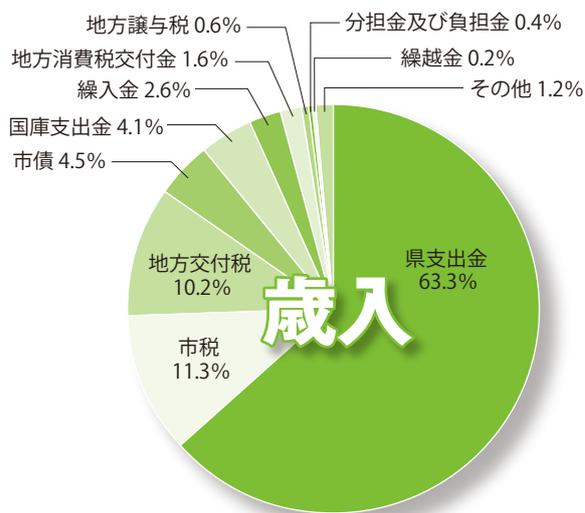


### 一般会計歳出内訳

衛生費	207億8,858万円
民生費	36億8,415万円
教育費	22億4,647万円
総務費	14億9,388万円
土木費	10億7,209万円
公債費	9億9,551万円
商工費	7億7,140万円
農林水産業費	6億2,648万円
消防費	5億8,803万円
議会費	1億9,429万円
その他	8,612万円

### 一般会計歳入内訳

県支出金	206億 546万円
市税	36億6,904万円
地方交付税	33億2,410万円
市債	14億7,700万円
国庫支出金	13億4,740万円
繰入金	8億5,031万円
地方消費税交付金	5億1,630万円
地方譲与税	1億7,793万円
分担金及び負担金	1億1,735万円
繰越金	8,000万円
その他（使用料等）	3億8,211万円



## 平成27年度 各会計予算額

会計名	予算額	対前年増減率(%)
一般会計	325億4,700万円	1.4
国民健康保険特別会計	(事業勘定)	36億3,715万円 14.4
	(直営診療施設勘定)	1億 195万円 1.1
後期高齢者医療特別会計	2億7,149万円 2.7	
介護保険特別会計	(保険事業勘定)	22億9,863万円 8.0
	(介護サービス事業勘定)	47万円 △ 92.8
公共下水道事業特別会計	11億3,522万円 41.0	
農業集落排水事業特別会計	6,515万円 36.3	
工業用地造成事業特別会計	5億9,514万円 △ 20.1	
工業用地資産運用事業特別会計	1億1,462万円 0	
水道事業会計	9億3,137万円 △ 3.2	
総計	416億9,819万円 2.9	

※阿武隈川左岸築堤用地取得事業特別会計は、会計上の目的が達成されたため廃止となりました。

防犯カメラを増設しては **総務費**

問 防犯カメラは犯罪解決に役立ち、抑止力にもなっている。公園や児童館周辺などにも設置する考えはないのか。

答 平成26年度には、通学児童等の安全確保として防犯カメラを国道4号線の地下道3カ所に計4台ずつ設置した。確かに犯罪の抑止力につながるかと考えているので、今後も必要な箇所等は調査し、進めていきたい。

除染は完了できるのか **衛生費**

問 除染業務委託料で191億計上されているが、予算に対して人員が足りないのでは。完了できるのか。

答 市では除染組合に委託しており、組合の作業員の確保や業者間の調整と併せて、市の方でも事前調査の委託等できることを行いながら、組合と連携し、平成27年度中の住宅除染の完了を目指したい。

捕獲委託料の内容は **農林水産業費**

問 有害鳥獣捕獲費で、捕獲隊の高齢化やイノシシが放射能で食べられないことによる意欲の低下も懸念される中で、今回、委託料が増額されている。イノシシの頭数も増加しているという現状を聞いたが、今回の予算は何頭くらいを想定して委託するものなのか。

答 今回の予算は平成26年度の実績から算出している。平成26年度当初は狩猟期間前までの業務委託であったが、狩猟期間中もかなりの頭数が出ることで予想されたので、年間を通した捕獲を委託するため、契約変更し増額となった。頭数ではなく、日当や餌代、わなの修理代等を含めた金額になっている。その他、後継者育成のための免許の取得や研修への参加など、捕獲隊と相談しながら使い勝手の良い委託金となるよう考えていきたい。

まあぶる運営補助金の考え方は **民生費**

問 えぼか内の売店まあぶるの運営について、今回の予算で運営補助金が計上されている。以前、行政財産使用ということで施設使用料を徴収すべきではと質問したのに対し、団体の性質上使用料は免除しているということで理解していたが、今回は市から補助金まで支出して運営するということであるが、その考え方は。

答 えぼか内の売店まあぶるは、平日は市内の障がい者施設から利用者の方2名とサポートの職員1名、保護者1名が付き添い運営しているが、保護者の方の高齢化により運営にも限界が出てきている。売店は大変好評を得ており、障がい者の雇用促進の面からも事業の維持は必要と考えており、今回は運営補助として臨時職員を保護者に代わって雇用し、事業を継続していきたい。

市長への

総括質疑

問 除染をスピードアップさせるための方策は。

答 住宅除染は人的作業によるところが非常に大きい。除染組合には人員の増加や効率的な除染に取り組んでいただき、市側は効率的な発注や、測量や図面の準備をいかに早くできるかである。

問 通園通学支援バス運行助成金が26年度と比べて2.7倍になっている。これは国の運行ガイドラインの見直しによるものだが、これは観光バス等の長時間の過労運転による事故防止のために見直されたものである。市町村の通学バスの運行は除外できないのか。できないのであれば運行形態を見直すべきでは。

答 市でも国土交通省に問い合わせ、除外できないか話をしていく。負担が大き過ぎ、毎年事業が継続できないと思われるので、27年度中に早めに仕組みを考えて、議会とも相談させていただきたい。

問 定住促進のための住宅取得支援について、市では積極的な宅地造成はせず、市内に宅地造成を行う事業者や住宅を取得した個人に支援したいとしているが、地方創生のこの機に新たに手を加えて取り組み、人口増に全力を尽くさないのか。

答 雇用、住宅、子育てなどすべての施策が複合して定住促進を成し得ると考えている。一方、財政健全化計画という命題もある。積極的に宅地造成をするのも一つの案だが、地方創生は今年1年で完結するものではないので、本年度案を作成し、随時見直しながら定住促進を最重要課題とし、積極的な地方創生に進んでいきたい。

問 宅地造成について、不動産業者の方から規制を緩和してほしいという話が聞こえてくる。今後規制緩和する考えは。

答 本宮に宅地造成したい業者は沢山あるが、ハードルが高いと言われるという話は聞いている。緩和できるところは積極的に緩和しながら、優良な宅地の提供は進めていきたい。

# 各種会計予算など 42議案を可決

# 3月 定例会

3月定例会（第2回本宮市議法定例会）は、市長から条例の制定や各種会計予算など35議案と報告1件が提出されました。

また、最終日には市長から議案5件と報告1件、議員から発議2件が提出され、すべて原案どおり可決しました。

今議会には、平成27年度の各種会計の予算が上程され、予算審査特別委員会を設置し、4日間にわたって集中審議を行いました。詳細は2ページから5ページに掲載されています。

## 人事

### 副市長、教育長の選任に同意

議会最終日に副市長及び教育長の選任と教育委員の任命についての議案が上程され、副市長の選任は無記名投票の結果賛成多数で、教育長の選任及び教育委員の任命は全会一致で同意しました。また、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙が行われ、次の方々が当選しています。

#### 副市長（新任）

佐々木広文氏（糠沢字東笹田）

#### 選挙管理委員会委員（再任）

菊地 恵和氏（稻沢字下喜多）

遠藤 順子氏（荒井字荒町）

佐々木光一氏（本宮字欠下）

#### 教育長（再任）

原瀬久美子氏（本宮字栄田）

#### 選挙管理委員会委員（新任）

佐藤 安雄氏（和田字戸ノ内）

#### 同補充員（再任）

松本 和子氏（本宮字万世）

#### 教育委員会委員（再任）

古宮 博文氏（本宮字大町）

#### 同補充員（新任）

国分 新司氏（糠沢字堀ノ内）

国分 豊氏（高木字滝ノ入）

石川 義弘氏（白岩字塩ノ崎）

平成26年度

# 一般会計補正予算

# 142億1千万円を減額

## 《一般会計補正予算の主な内訳》

### 歳出

- 除染・仮置場設置等関連業務委託料（減額）  
… -141億6,000万円
- 豪雪災害特別支援事業補助金（減額）  
… -1億4,940万円
- 財政調整基金積立金  
… 1億6,700万円

### 歳入

- 除染対策事業交付金（減額）  
… -141億5,730万円
- 豪雪災害特別支援事業補助金（減額）  
… -1億1,920万円
- 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金  
… 4,970万円

## 一般会計総額

# 247億9千万円に

▲住宅除染の様子

## 除染事業、平成27年度に継続

今議会に提出された平成26年度一般会計補正予算は、平成26年度中に完了できなかった除染事業分の減額や、豪雪で被災したパイプハウスの復旧支援補助金の申請件数が見込みより少なかったことによる減額、その他、各種事業の決算見込みによる補正が計上されました。また、国の地方創生に関連して、地域消費喚起プレミアム商品券や子育て応援商品券の発行、定住促進奨励金の交付に伴う費用が計上されています。

## 「JAグループの自己改革の実現に向けた意見書」を提出

みちのく安達農業協同組合から提出された「JAグループの自己改革の実現に向けた要請書」については、農協改革が農業振興や地域振興につながることから、内閣総理大臣等に対し、意見書を提出することとしました。

## 議案質疑

### 商品券の発行時期や期限は

問 地域消費喚起プレミアム商品券の発行時期は。また、使用期限はあるのか。

答 国で利用期間は半年間としており、本市では商工会と相談しながら期間を7月7日から翌年1月6日までとし、販売は市内2カ所です。7月3日から7日までとしている。

### 副市長選任の考え方は

問 大半の自治体は行政に精通した人が副市長に選任されている。今回、そのような考えをせずに人選したように見受けられるが、どのような期待をし、選任したのか。

答 長い議会経験も持っており、副市長の選任は適任と考えている。行政対応については、すべて力を合わせて進んでいくという意味で選任した。

## 総務文教常任委員会

総務文教常任委員会には、本宮市子ども屋外プール条例制定についてのほか6件の議案が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。



▲完成した子ども屋外プール

### 子ども屋外プール 条例制定

**使用料の減免措置はあるのか**

**説明** 本宮まゆみ小学校敷地内に開設する屋外プールの設置に必要な事項を定める条例を制定する。

**問** 子ども屋外プール使用料は減免されるのか。

**答** 条例で施設の使用料を定めるが、別に制定する規則で減免し、小学

生以下の子どもの体力低下に伴う運動不足の解消と健康増進を図っていき

### 行政財産使用条例 の一部改正

**進捗する法令の内容は**

**説明** 道路法施行令の一部改正とこの改正に準拠する福島県道路占用料徴収条例の一部改正及び本宮市道路占用料徴収条例、本宮市都市公園条例の一部改正との整合性を図るため、条例の一部を改正する。

**問** 行政財産使用条例が準拠する法令の内容は。

**答** 行政財産使用条例で、使用料の大部分を占める電柱敷地使用料は電気通信事業法に準拠しているが、今回の改正は道路占用料に準拠している管類等の設置に係る改正であり、道路占用料の改正内容に準じて引用する。

## 生活福祉常任委員会

生活福祉常任委員会には、本宮市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例制定についてのほか3件の議案が付託されました。

主な審議内容は、次のとおりです。



▲白沢地区の地域包括支援センター（カサーレ）

### 包括的支援事業の実 施に関する基準を定 める条例制定

**センターの拠点は**

**説明** 地域包括支援センターの職員の配置、職種及び人員等に関する基準を定める。

**問** 地域包括支援センターの拠点は。

**答** 日常生活圏域3カ所に拠点を設け、地域で相談できる体制を整備したい。

**問** 地域包括支援センターの委託経費の財源は。

**答** 委託経費は国の補助対象であり、補助率は国が39%、県が19・5%である。また、1号保険料で22%を賄い、市の負担率は19・5%となる。

### 介護保険条例の一 部改正

**本市の保険料の位置付けは**

**説明** 第6期介護保険事業計画に基づき、条例の一部を改正する。改正の主な内容は、基準月額保険料を5,200円とし、さらに所得段階に応じた保険料を現行の8段階から9段階に設定する。

**問** 介護保険料の県内の位置付けは。

**答** 県内13市の中では、喜多方市と並び保険料は一番低い。(2月調査時点)

# 産業商工常任委員会

産業商工常任委員会には、本宮市工業用地造成事業償還基金条例を廃止する条例制定についての1件の議案が付託されました。

主な審議内容は、次のとおりです。



▲工業団地予定地（関下字下関下地内）

## 工業用地造成事業 償還基金条例の廃止

### 廃止の理由は

**説明** 工業用地造成事業の償還にあたり、リーマンショック後の急速な世界経済の落ち込みで、当分の間、工業用地の分譲が見込めないことを想定し、制定された基金条例を、市の財政健全化計画に基づき基金からの繰り入れが平成26年度で完了したため、条例を廃止する。

**問** 基金廃止の理由は。

**答** 毎年度、約7億4千万円を償還してきたが、平成27年度からは、1億5千万円減の約5億9千万円となり、財政健全化計画に基づき、償還可能と見込まれる。

**問** 工業用地をオーダーメイド方式で開発することによって、市の負担が大きくなり基金が必要となることはないか。

**答** 従前は、市が設計、土地買収、造成及びインフラ整備をした上で、工業用地の分譲を行っていたが、現在は企業と地権者との土地売買契約締結までのマンパワー的な支援とインフラ整備を担い、造成はあくまで立地企業が行う方式で、一時的に大きな財政支出を伴わずに対応可能である。

### 現地調査

岩根地区の災害復旧工事現場と、関下地区の工業団地予定地の現地調査を実施し、現状と今後の課題について説明を受けた。

# 建設水道常任委員会

建設水道常任委員会には、本宮市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定についてのほか3件の議案が付託されました。

主な審議内容は、次のとおりです。



▲本宮右岸駒込地区河川改修工事箇所現地調査

## 阿武隈川左岸築堤用地取得事業特別会計条例の廃止

### 先行取得は不要なのか

**説明** 阿武隈川左岸築堤事業で築堤用地を先行取得するため設置した特別会計を事業用地の国の買い戻しが平成26年度で完了したため廃止する。

**問** 今後は事業用地の先行取得をしなくても、円滑に進められるのか。

**答** これから市街地のB

## 道路占用料徴収条例の一部改正

### どの程度の減額か

**説明** 国・県において改訂された道路占用料との整合性を図るため、条例の一部を改正する。

**問** 平成26年度と比べてどの程度占用料が減額となるか。また、道路占用料改訂となった理由は。

**答** 道路占用料は平成26年度と比較して、約300万円の減額となる試算である。改訂の理由は、国で固定資産税評価額を基に道路占用料の算定を行うが、3年に1度見直しとなるため改訂となった。

## 議会活性化検討特別委員会

## 各条例案のパブリック・コメント実施へ

議会基本条例  
議員政治倫理条例

2月4日の委員会で、委員から新たな条例案が提案され、これまでの委員会で作成した素案との比較検討を行いました。

検討の結果、文言の修正の他に、議会基本条例では、政策討論会の名称を政策調整会議とし、討議すべき案件があれば、その中で議員間討議を行うことなどが規定されました。

議員政治倫理条例では、議員に宣誓書の提出を義務付け、また、議員に政治倫理基準に違反する行為が認められた際の審査請求は議員及び市民のどちらからでもそれぞれの一定数以上の連署をもって請求できることなどが規定されました。

平成26年度の市民との意見交換会のまとめを行いました。対応方針を協議した結果、昨年と同様に、市民の意見・要望を「市長部局へ伝えるもの」と「議会で対応するもの」の2つに分類し、市長部局へ伝えるものは市民の率直な意見として執行部に提出しました。詳しくは11ページに掲載しています。

## 市民との意見交換会

シにも掲載し、意見を募りました。今後は寄せられた意見等の精査検討を行います。

また、今後の市民との意見交換会について協議を行いました。委員からは、各常任委員会による関係団体との意見交換会の提案など、さまざまな意見があり、次回の委員会で継続して協議することとしました。

## 本宮駅周辺整備検討特別委員会

本宮駅東西自由通路等整備基本計画について  
調査・検討

2月20日開催の委員会で、本宮駅周辺東西アクセス整備事業の進捗状況について市から説明を受けました。主な審議内容は、次のとおりです。

## 駅舎の構造と西口広場整備は

**説明** 駅舎及び東西自由通路は、JRが作成した調査報告書に基づき、本宮駅東西自由通路等整備計画検討委員会で検討を重ねた結果、自由通路と駅構内通路を一体化し整備する手法とした。

駅舎の形態は、橋上駅または半橋上駅で、にぎわいづくりや活性化の面から、人が集まる機能を持たせた構造にすることが検討されている。

西口広場は2,300㎡の計画区域内で整備する内容を検討している。バスや車の乗り入れをどうするか今後検討を続ける。

**固** 当初の整備計画素案の段階で駅の構造等の案が4つあったが、パブリック・コメントの実施

前に検討案が2つに絞り込まれた理由は。

**答** 市の活性化や、まちづくりのきっかけとなるような施設を合わせて整備するため、計画案の絞り込みをした上で、中身をどうするのか、さらなる検討を進める必要があるためである。

**固** 駅は活性化の核となり得るのか。

**答** インフラ整備の目的ににぎわいづくりや活性化が含まれており、さらなる検討を進めていく。

その他、委員から、駅は100年の大計であり、夢を持って前向きに検討すべきである。ソフト面での充実を工夫していつてほしい。との意見もありました。

# 意見・要望を市に提出しました！

意見交換会でいただいた市民の皆さんの意見・要望を議会活性化検討特別委員会で「市長部局へ伝えるもの」と「議会で対応するもの」に精査分別し、「市長部局へ伝えるもの」は市に提出し、「議会で対応するもの」は全員協議会で議長から全議員に対し、要望に応えるべく努力するよう要請がありました。内容の一部をご紹介します。

## 市長部局へ伝えるもの

### 市政全般について

- ・本宮市は縦横の連携は上手くいつているのか。何かあった場合にスムーズに対応できるのか。
- ・コミュニケーションがない。改善には子どもの教育が大切である。
- ・各審議会委員が形だけの委員になっている。また、大学の先生が参加しているが何も意見がなく意味がない。
- ・議会を傍聴した際、女性は議員も市執行部も1人だけだった。3割くらい女性になるよう働きかけてほしい。

### 人口増加への取り組みについて

- ・本宮市でも合コンなど企画をやってみて面白みを出していく必要があるのではないか。
- ・仮設住宅で生活している方に定住してもらう施策が必要では。
- ・荒井の工業団地は運送業ばかりで人口の定着に結びついていない気がする。

### 福祉について

- ・サロンでの福祉バスが利用できるようにしてほしい。
- ・町内会や民生委員、社会福祉協議会にも限界がある。高齢者が安心して生活しやすい環境を整備すべき。

### 地域のことや施設について

- ・回覧板が回る範囲で、皆で助け合えるネットワークを構築すれば地域の問題も解決するのではないかと。行政区長、町内会長の任期を5年くらいにして、補佐的な役割を配置してはどうか。
- ・人が集まる施設が古く、トイレの洋式化が進んでいない。高齢者に優しい施設に改修すべき。
- ・高木地区公民館の移転は決まったような話だが一般の住民は聞いていない。

### 除雪対応について

- ・除雪が進まない原因に熟練度がある。役所も業者も技術向上に努めるべきである。
- ・大雪が降ることは天気予報で情報が入ると思う。前もって準備するのが大切なのでは。

### 農業について

- ・カメムシ防除の助成をお願いしたい。

### 駅舎や道路について

- ・人口が減少する中、本宮駅西口はお金をかけてやるべきなのか。通勤・通学の方がある程度電車に乗れる条件で良いのでは。
- ・本宮駅西口は車優先ではなく、人優先で使いやすさを出してほしい。
- ・みずきが丘のアクセスが良くないので、整備をしてほしい。

## 議会で対応するもの

### 政務活動費について

- ・政務活動費は本来の目的のために適切に判断し使ってほしい。
- ・議会・議員に要望すること

- ・議員が次に出る人、特に女性を育てることが必要だと思う。
- ・定住人口の増加は大変だが、議会の方で良い方法を見つけてほしい。

- ・市議会は一生涯命やっていると、思うが、活性化についてはまだまだ頑張ってほしい。
- ・視察研修は市の発展に大いに役立ててほしい。

- ・企業を誘致するため、議員もトップセールスとして活動してほしい。

### 市民との意見交換会について

- ・これからも開催してほしい。
- ・PR不足で、参加者が少ない。
- ・若い父親母親が参加できるPTAの人たちを集めて意見を聞く方法も良いと思う。
- ・昨年も出席したが、その結果はどうなったのかきちんと出してほしい。
- ・議員が一つになって、市民に考えを伝える会にしてはどうか。

### 議会だよりについて

- ・議会の内容をわかりやすく伝えるために、専門的な言葉を使用しないでほしい。



精査分別した意見・要望等の詳細は、本宮市議会のホームページに掲載しています。

## 本会議での討論

3月26日の本会議で、議案第13号、第31号、第33号の3つの議案について討論がありました。また、議案第30号「平成27年度本宮市一般会計予算」に対する組み替え動議（修正案）が提出され、討論・採決の結果、賛成多数で原案が可決されました。

主な内容は次のとおりです。

**議案第13号**  
本宮市介護保険条例の一部を改正する条例制定について

この議案は、第6期介護保険事業計画に基づき、介護保険料の基準月額を5,200円とし、さらに所得段階に応じた保険料を、現行の8段階から9段階に設定するものです。

### 反対討論

渡辺忠夫議員

今回の条例改正は保険料の引き上げである。一方、この4月からマクロ経済スライド制度が導入され、年金は毎年削減される。年金生活者の暮らしを守るためにも、一般財源を利用し運営することや、国が介護保険の財源を増やすことが求められており、国に対して制度改正を求めていくべきである。

### 賛成討論

根本七太議員

団塊の世代と呼ばれる方々が第1号被保険者に該当している現代の少子高齢化社会の中で、制度を維持するには基準月額保険料の引き上げはやむを得ない。また、本市の基準月額5,200円は、2月調査時点で県平均や全国平均より低いことから同意するものである。

**議案第31号**  
平成27年度本宮市国民健康保険特別会計予算

平成27年度の国民健康保険事業の運営に関する予算です。

### 反対討論

渡辺忠夫議員

今回の予算の中でマイナンバー制度導入による整備費が含まれている。国民総ナンバー制を導入し、税の取り立てを簡単にするという内容である。今でも国税の未払い者には、無理やりにも取り立て、差し押さえまでされるといいう状況であり、各地でいろいろな問題が出ている。そのような状況にさらに拍車がかかるように思えない。

※賛成討論はありませんでした。

**議案第33号**  
平成27年度本宮市介護保険特別会計予算

平成27年度の介護保険事業の運営に関する予算です。

### 反対討論

渡辺忠夫議員

今回、大幅な引き上げが予定されており、特に年金暮らしは大変である。また、マイナンバー制度の導入などで取り立てが厳しくなることもあり、被保険者はさらに大変になるということからも賛成できない。

### 賛成討論

国分勝広議員

介護保険は、国・県・自治体で50%、第1、2号被保険者で50%の受益者負担をすることで成り立っている制度である。今後、高齢者の増加が見込まれ、制度自体が継続できないため、ある程度の負担増はやむを得ない。高福祉は高負担を伴うものである。

議案第30号  
平成27年度本宮市一般会計予算

平成27年度の一般会計予算です。  
今回争点となった事業は、本宮駅周辺東西アクセス整備で交流センターを建設する事業についてです。今回の予算には、この交流センターの設計委託料が計上されています。

組み替え動議提案理由

菊田広嗣議員

今回の組み替え動議(修正案)は、次の5点の理由により、交流センターの設計委託料を削除したものである。

①にぎわい創出のための交流拠点ということだが、建設することによってどのようなにぎわい創出の効果があり、どのように利用した結果、市民に利すると見込まれるのか説明されていない。

②駅舎の設計の中にも多目的スペースがあり、交流拠点と比較し、効果と施設の使い分けが明確ではない。

③施設の大まかな費用と、税金を投入するだけの利点があるのか明確ではない。

④大まかな費用が出ていないのに、設計委託するのは無理である。

⑤不明確な部分が多いのにも関わらず、交流拠点施設が必要・不必要という議論をせずに建設することが前提となってしまうている。

以上の理由によりまず設計委託料を削除し、必要かどうかから議論すべきと考える。

原案反対討論

渡辺忠夫議員

重点課題の定住促進について、小学校区単位の方向が見えない。子どもが少ないところなどを重点にすべきである。

本宮駅周辺東西アクセス整備計画は市民の目線で計画すべきである。多額の財政支出を伴う予算計画になっているが、そうでない市民の意見も多様にあるので、もっと市民の意見を聞くべきである。

職員待遇では、特に保育所や幼稚園職員は必要人員すべて正職員にすべきである。

農業振興では、直接支払交付金が昨年に引き続き削減される。2,000円の予算措置では不十分であり、本市の最重要産業として今後の対策を求めらる。

組み替え動議賛成討論

国分勝広議員

この交流拠点の必要性、妥当性という部分で、現在の交流拠点施設に一般市民が交流しているのを私は見たことがないし、一株式会社の問題でもある。

どの場所に建設すれば効果的なのか、また、複合施設とし、どのような施設と合築したら有効なのかなど問題を市民や議会が議論し、合意形成を図ることが先決であり、その合意が整ってから委託すべきと考える。

3月定例会賛否一覧

これら以外の議案等は14ページのとおり全会一致で可決されています。

議員名 議案番号	みらい創和会					新風会						共	無所属								
	渡辺由紀雄	次藤 栄	田谷 長作	佐々木広文	国分 民雄	渡辺 善元	川名 正勝	遠藤 孝夫	川名 順子	山本 勤	三瓶 裕司	菅野 健治	國分 義之	渡辺 忠夫	菊田 広嗣	橋本 善壽	後藤 省一	根本 七太	渡辺 秀雄	伊藤 隆一	国分 勝広
議案第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	●	○	●
議案第31号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○は原案に賛成 ●は組み替え動議に賛成(議案第30号のみ) ●は反対 議長(國分義之)は採決に加わらない  
※会派名の略称は以下のとおり 共…日本共産党 なお、会派「市民の会」は、1月26日に解散しました

## 議決結果一覧表

議案番号	議 案 名	議決結果
議案第4号	本宮市教育長の服務等に関する条例制定について	原案可決確定
議案第5号	本宮市子ども屋外プール条例制定について	原案可決確定
議案第6号	本宮市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例制定について	原案可決確定
議案第7号	本宮市指定介護予防支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定について	原案可決確定
議案第8号	本宮市行政手続条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第9号	本宮市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第10号	本宮市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第11号	本宮市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第12号	本宮市行政財産使用条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第13号	本宮市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第14号	本宮市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第15号	本宮市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第16号	本宮市都市公園条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第17号	本宮市下水道条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第18号	本宮市阿武隈川左岸築堤用地取得事業特別会計条例を廃止する条例制定について	原案可決確定
議案第19号	本宮市工業用地造成事業償還基金条例を廃止する条例制定について	原案可決確定
議案第20号	白岩地区仮置場造成工事請負契約について	原案可決確定
議案第21号	復興公営住宅整備事業（下田地区）造成工事請負契約について	原案可決確定
議案第22号	平成26年度本宮市一般会計補正予算（第12号）	原案可決確定
議案第23号	平成26年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決確定
議案第24号	平成26年度本宮市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決確定
議案第25号	平成26年度本宮市介護保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決確定
議案第26号	平成26年度本宮市公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）	原案可決確定
議案第27号	平成26年度本宮市工業用地造成事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決確定
議案第28号	平成26年度本宮市工業用地資産運用事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決確定
議案第29号	平成26年度本宮市水道事業会計補正予算（第5号）	原案可決確定
議案第30号	平成27年度本宮市一般会計予算	原案可決確定
議案第31号	平成27年度本宮市国民健康保険特別会計予算	原案可決確定
議案第32号	平成27年度本宮市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決確定
議案第33号	平成27年度本宮市介護保険特別会計予算	原案可決確定
議案第34号	平成27年度本宮市公共下水道事業特別会計予算	原案可決確定
議案第35号	平成27年度本宮市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決確定
議案第36号	平成27年度本宮市工業用地造成事業特別会計予算	原案可決確定
議案第37号	平成27年度本宮市工業用地資産運用事業特別会計予算	原案可決確定
議案第38号	平成27年度本宮市水道事業会計予算	原案可決確定
議案第39号	副市長の選任について	同 意
議案第40号	教育長の選任について	同 意
議案第41号	教育委員会委員の任命について	同 意
議案第42号	糠沢地区仮置場造成工事請負契約について	原案可決確定
議案第43号	平成26年度本宮市一般会計補正予算（第13号）	原案可決確定
報告第2号	安達地方土地開発公社清算結了について	
報告第3号	専決処分の報告について （専決第1号 本宮地区等仮置場造成工事請負契約の一部を変更する契約について）	
発議第1号	本宮市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
発議第2号	JA グループの自己改革の実現に向けた意見書 閉会中継続調査申出書（各常任委員会）	原案可決確定 決 定

※議案第39号「副市長の選任について」は、無記名投票による採決となりました。その際、議長に投票用紙を配付する間違いがありました。議決は有効となります。多方面にご心配とご迷惑をお掛けしましたこととお詫び申し上げます。

# 市政を

# 問

# う

12名の議員が登場



**問** 地方創生への取り組みは  
定住対策室を新たに設置する

根本七太  
議員

**問** 国の掲げる地方創生に積極的に取り組むため、現組織を見直し、専門部署やプロジェクトチームを早急に検討しては。ふるさと納税制度も現行の1割から2割になる。本市特産の長芋を全国に発信するチャンスと考えるが、取り組みは。

**答** 現在の市長公室内に課として定住対策室を設置し、課長職と係員ほか関連部署から職員数名をプロジェクトチームとして指名したい。ふるさと納税の返礼品は、米やとろろ芋、特産品の詰め合わせなどを選択できるような形をとりたい。

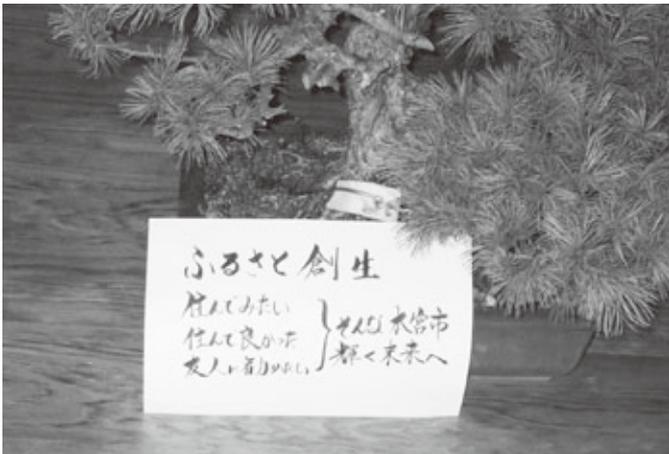
**問** 積極的な工業団地造成を  
オーダーメイド方式で進めたい

**問** 雇用創出には企業誘致が一番である。地方創生を生かし、オーダーメイド方式ではなく工業団地を造成し積極的に取り組むべきでは。また、定住政策や子育て支援の一環として、市営住宅建設に取り組みべきと考えるが市の見解は。

**答** 企業立地の確実性や許認可のスピード化、造成も企業の要望に沿えることもありオーダーメイド方式で進めたい。市営住宅建設は、復興公営住宅が将来的に市営住宅と同じ管理になることも勘案し、その戸数や状況を見ながら考えたい。

### その他の質問

- ・高木地区公民館移設計画の今後の取り組みは
- ・2期目就任、市長の今後の市政運営について



ふるさと創生!



**問** 五百川駅前広場の整備はなるべく早く着手したい

橋本善壽  
議員

**問** 五百川駅前広場は狭くて危険である。平成27年度予算に用地取得に向けた調査費が計上されているが、調査によっては補正予算を計上してでも早期に駅前の土地を購入するなど駅前広場整備に着手する考えはあるのか。

**答** 今回調査する部分は、将来必要な事業用地と考えている。土地所有者の方々の事情も考慮しながら、用地取得に向けた次の段階に入れるよう進めていき、なるべく早く着手したい。

**問** エネルギー関係の企業誘致は誘致は慎重に進めていくべき

**答** 国は、平成27年度から小規模木質バイオマス発電の買い取り価格を40円に引き上げ、導入を推進するとしている。本市にも木質バイオマス発電や、その他再生可能エネルギーを用いた事業を目的とする企業を誘致すべきと考えるが。

**問** エネルギー関係の企業誘致は誘致は慎重に進めていくべき

**答** 木質バイオマスは森林の適正な管理における持続可能エネルギーと考えているが、燃料に木材を多く必要とし、その焼却により放射性物質が飛散するのではという市民感情の難しい面もあるため、誘致は慎重に進めていくべきと考える。

**その他の質問**

- ・通学路等の除染の進捗状況と今後の計画は
- ・カメムシ防除の支援について



駅前広場整備に早期着手を



住民に不便をかけない計画を（高木地区公民館）



**問** 公民館移転のスケジュールは平成29年度から供用開始予定

次藤 栄  
議員

**問** 高木地区住民には公民館が使いやすいという思いがある。合併支援助路建設となれば公民館解体となるがその時期と使用できない期間を極力少なくする対策は。また、住民説明会を含めた今後のスケジュールは。

**答** 今後は、今年4月、5月頃に地域の方々との意見交換をし、秋口から解体した後、併注、建設工事を行い、平成29年4月から供用開始できればと考えている。使用できない期間は約一年半になるが、これが最短と考えている。

**問** 子ども達の外遊び推進を地区グラウンド等活用してほしい

**問** 今の子ども達は外遊びの機会が少なくテレビゲーム等家の中の遊びが中心である。そこに原発事故が重なり屋外での遊びが制限され体力が低下した。地区公民館やグラウンド等屋外の安全な場所での遊びの推進を教育の施策としては。

**答** 帰宅後の児童・生徒の活動は家庭教育の範疇ではあるが、遊びを通しての成長や地域での触れ合いは有意義であり、特に外遊びは体力面からも推奨すべきと考える。地区公民館やグラウンドは大いに活用していただきたいと考えている。

**その他の質問**

- ・定住化施策のプロジェクトチーム結成を
- ・子育て策と定住化策を組み合わせた施策を



除染計画を現実に合わせて訂正すべきでは



## 問 除染計画の見直しをすべきでは

答 国・県の状況を注視し対応する

菊田広嗣  
議員

問 27年度中に除染を完了するのは困難であるとの見解を聞いた。市民の安全・安心のためには、スピーディな除染を行うことも大事だが、計画そのものも無理のない現実に即したものに訂正した方が不安材料を無くす意味で良いと思うが。

答 政府は集中復興期間を延長せず、28年度から5年間を後期復興期間と位置付け新たな振興枠組みを示すとしている。しかし、除染計画の延長が認められ、交付金の対象になるのかは不明であるため、国・県の状況を注視し対応したい。

問 入札の見積もりは正確か  
答 専門的な見地から確認している

問 市発注の工事は税金を投入する以上、できるだけ競争の原理を働かせ少ないコストで最大の効果を出せることが求められる。追加発注等があると追加分を含めた場合の競争が働かない恐れがあるが、当初の見積もりは正確なのか。

答 建設工事の見積もりは現地を測量し、必要な機能や施工条件等を想定した金額としてまとめており、専門的な見地から確認している。追加発注も当初発注工事と本質的に同じであるため、落札率は大きく変わらないと推測される。

### その他の質問

- ・定住促進のPR手法と費用対効果について
- ・定住促進のための市内の整備計画について



## 問 結婚活動支援策を行っている

答 現在は考えていない

国分勝広  
議員

問 国の2010年の出生動向基本調査では未婚女性の結婚希望率は89%であった。しかし、現実には30歳〜34歳の未婚率は38%である。この調査により全国40の都道府県で婚活支援を行っている。本市でも婚活支援策を行っているが。

答 市として直接的に婚活事業をやることは考えていないが、本市では民間団体を中心にヤングフェスタ等の事業を行っているので、関係団体とのタイアップや、そういった活動を積極的に行っていたら体制づくりを進めたい。

問 五百川駅トイレの整備は  
答 毎年JRに要望している

問 本市は「住みよさラ  
ンキング」県内1位  
をうたっているが、1日  
約千人の乗降者のある五  
百川駅には、くみ取り式  
のトイレ一つ入りきら  
ないせいか乱雑な駐輪場  
しかない。宣伝も良いが、  
利用者の利便性を考え、  
中身の充実が先では。

答 駅舎のトイレはJR  
が管理所管だが、女  
性が利用しにくいとは感  
じている。県の鉄道活性  
化対策協議会を通じJR  
には毎年要望している。  
駐輪場は約140台分あり、  
不足しているとは感じて  
いないので、今は利用  
状況を見ていきたい。

### その他の質問

- ・本音の市民の声をくみ上げるためには、各種審議会の人選等の改革をすべきではないか



駐輪場の整備も課題では



毎年2月28日をメモリアルデーに  
(スマイルキッズパークに植樹されたオーク)



**問** 本宮二中通学路の歩道整備計画は  
**答** 調査し、必要であれば整備する

渡辺秀雄  
議員

**問** 立石山浄水場から県道までの市道殆くは、通学路であるが狭い上に歩道がなく、特に通学時間帯は、通行量が多く大変危険な状態である。今後さらに通行量が多くなることから予測されることから早急に歩道の整備をすべきと考えるが。

**答** 通学路の危険箇所については、通学路安全プログラムの中で学校から挙げられた危険箇所を関係部局が確認し、計画的に進める箇所をピックアップし整備していく。市道殆くもその対象として調査をし、必要となれば進めていきたい。

**問** 五百川駅前広場整備の調査内容は  
**答** 用地取得に向けた調査である

**問** 以前から要望のあった五百川駅前広場の整備がようやく新年度から着手すべく計画され、予算が計上されている。計画の概要は。また、駅周辺整備について市民の声を聞く機会を持つべきと思うが考えはあるのか。

**答** 今回は調査のための予算計上で、五百川駅前広場全体の基本計画のための現況測量調査と将来的に必要な用地の物件調査及び不動産鑑定調査である。検討委員会のような組織の中で市民の方々等の意見をいただき進めていきたい。

**その他の質問**

- ・凍結道路の滑り止め対策は
- ・公共用地の先行取得計画は



通学路の安全確保を（市道殆く森線）



**問** 生活困窮世帯への学習支援は  
**答** 今後必要性を検討していきたい

川名順子  
議員

**問** 本市の子どものいるひとり親世帯の数は。生活困窮者自立支援法が4月から施行される。生活困窮世帯の子ども達への学習支援は。ウィリアム王子の来訪日を記念日とし毎年成長した木の写真を大使館に届けては。

**答** 要保護が4世帯、生活保護が5世帯、ひとり親世帯が340世帯である。生活困窮世帯の子どもが対象の学習支援事業は、今後取り組みが必要なのか検討していきたい。来訪や植樹を記念した取り組みはできるだけ早く考えていきたい。

**問** ホームスタート事業への助成は  
**答** 各種団体と話し合っていきたい

**問** 妊娠から育児まで切れ目なく支援する子育て世帯包括支援センターが全国展開されるが、本市での取り組みは。また、イオンから助成を受け、ホームスタート事業が行われ、本市でも8名が登録している。市として助成しては。

**答** 本市では地域子育て支援拠点事業での育児相談等や保健師による妊婦健診、全戸訪問等を行っており、同機能を果たしている。子育て支援には多くの課題があり、ホームスタート事業のことも含め各種団体と話し合っていきたい。

**その他の質問**

- ・新教育委員会制度について
- ・下水道整備事業について

ホームスタート事業…研修を受けたボランティアが家庭に訪問し、話を聞き、一緒に家事育児をする家庭訪問型の子育て支援。



奨励金制度のPRでさらなる定住を



### 問 マイホーム取得奨励金の効果は

答 2月末で56世帯が申請している

円谷長作  
議員

**問** 平成26年10月に開始したマイホーム取得奨励金（1軒当たり中学生以下の子どもがいる場合30万円、いない場合20万円）の利用状況は。また、この制度を利用した市外から本市への転入者数は。

**答** 2月末現在で申請数は56世帯で、そのうち中学生以下の子どもがいる世帯は40世帯である。また、世帯の人数は193名で、そのうち市外からの転入者は95名である。

### 問 総合教育会議の取り扱い内容は 答 大綱や予算、安全確保等を扱う

**問** 教育行政が4月1日から変わり、教育委員長が廃止され新教育委員会として一つになり教育委員会と総合教育会議で運営することになるが、市長が入る総合教育会議は教員人事、予算、教科書の選定、共通学力テストの発表等何を扱うのか。

**答** 総合教育会議の協議事項は、教育大綱の制定に関することや教育関係予算、児童・生徒の生命や身体に被害の恐れがある事案対応等が主で、学力テスト結果の公表等も案件になり得ると理解している。教科書採択や教員人事は扱わない。

### その他の質問

- ・仮設住宅は空室があることから集約を図るべき
- ・福島デスティネーションキャンペーンについて



### 問 賠償打ち切り撤回を求めべき 答 オール福島で継続を求めていく

渡辺忠夫  
議員

**問** 国と東京電力は昨年、福島県商工会連合会に、原発事故による営業損害賠償を5年打ち切る素案を説明し、被災県民に衝撃を与えた。加害者である国と東京電力の一方的な打ち切りは認められない。撤回を求めるべきでは。

**答** まだ原発事故が収束しておらず、商業、農業等すべての産業が被害を受けている。その中で市単独というよりは県と県内市町村、関係団体等を含めたオール福島で賠償継続の意思を発信していきたいと考えている。

### 問 稲作推進についての支援策は 答 効果的な支援を考え対応したい

**問** 平成26年産米の価格下落であまりの安さに今年は米を作付しないとの声が聞かれる。市として作付しないということ把握しているのか。また、今年作付に対する支援策は考えているのか。

**答** 米価下落や後継者問題等の不安なことを市やJAに相談されることは多々ある。作付支援として、今年度限りではあるが奨励金の支給に加え、航空防除への支援など、その時々によった一番効果的な支援を考えながら対応していきたい。

### その他の質問

- ・子育て支援対策について
- ・妊産婦の支援について



安心して米を生産できるよう支援を



旧本宮第一中学校体育館（解体予定）



**問** 欠下・上千束を結ぶ橋の必要性は  
**答** 各種計画から総合的に判断したい

山本 勤  
議員

**問** 小幡地区からまゆみ小学校へ、さらに中台、12、13、14区から第一中学校への通学路としても欠下・上千束地区を結ぶ橋の新設は意義のある重要な課題である。駅舎及び駅西口整備と西部開発の一連の流れの中で橋の新設の必要性は。

**答** この地区は下流部に4号線の橋、上流部に小幡橋がある。平成26年度にまとめた都市計画マスタープランにおいて、小幡橋は改修計画があり、今後は市の総合計画や国土利用計画等との整合性を図り、総合的に判断したい。

**問** 本宮停車場線拡幅工事計画は  
**答** 31年度までの7年間で整備予定

**問** 県が発注した街路事業で整備される本宮停車場線の拡幅工事の予定期間は。建築方法としてすべて更地にして建て替えるのか。1区画は商店街にするのか。1店舗ごとに駐車場を設置するのかなど工事計画はどのようになっているのか。

**答** 工期は平成31年度までを予定している。今回の改良工事は主に道路の南側に拡幅となるので、該当の地権者の方々は建て替え等が生じる。意向を十分に伺い契約し、建て替え方法はその意向に沿った形で1店舗ごとになると考える。

**その他の質問**

- ・本宮駅西側周辺の雨水対策について
- ・千代田橋修繕工事について



橋の新設で効果的な開発を（本宮字上千束地内）



**問** 増加傾向にある空き家対策は  
**答** 今後の対応策等は考えていきたい

菅野健治  
議員

**問** 空き家の原因は、高齢世帯の住宅所有者の死亡や転居等と考えられる。また、2世帯以上の同居は減少し、次世代は進学・就職・結婚等を契機に異動するケースが多い。市は実態を把握しているのか。増加傾向の空き家をどう捉えるか。

**答** 総務省が5年ごとに地家屋調査では、本市には平成25年度で1,200戸の空き家がある。防災、衛生、景観等地域住民の生活環境に良くない影響を及ぼすものと考えており、今後の対応策等については考えていきたい。

**問** 老朽化施設の改修の時期は明確か  
**答** 整備計画等により定めている

**問** 今、全国の自治体で学校や公民館、図書館などの公共施設の老朽化が大きな問題となっており、施設の数減らさないという行政が行き詰まる危機感がある。市では老朽化施設を何力所と捉え、改修や解体の時期は明確になっているのか。

**答** 昭和56年以前に建築された施設は25施設ある。学校は耐震化計画で、他施設は整備計画や整備方針により改修等を定めている。国から示された公共施設等の総合管理計画の策定に当たっては、27年度から体制を整えて、対応したい。

**その他の質問**

- ・市として晩婚化対策の取り組みについて
- ・特定不妊治療費助成について

## 第1回臨時会

### 本宮地区等仮置場 造成工事請負契約を締結



▲本宮地区等仮置き場（高木字前田地内）

2月20日に、第1回臨時会が開かれ、本宮地区等仮置場造成工事請負契約の締結や平成26年度の一般会計補正予算の審議が行われました。

本宮地区等仮置場造成工事請負契約については、総合評価一般競争入札により石橋建設工業㈱と契約するために議会の議決を求めるものです。

その他、福島県議会議員補欠選挙の経費や糠沢地区の仮置場造成工事費の不足分などが追加計上された一

般会計補正予算を承認・可決しました。

また、常任委員会構成の変更と本宮駅周辺整備検討特別委員長の選任が行われ、国分民雄議員が建設水道常任委員会から産業商工常任委員会に異動となりました。本宮駅周辺整備検討特別委員長には山本勤前副委員長が、副委員長には次藤栄委員がそれぞれ選任されました。



リフォームして貸し出しては（兼谷平雇用促進住宅）



問

ESCO事業導入の考えは  
今後検討の余地はある

三瓶裕司  
議員

市内の防犯灯をすべてLED化するために、ESCO（エネルギーサービスカンパニー）事業を導入する考えは。また、国の補助金やリースなどを利用してLED化する取り組みへの考えは。

答

ESCO事業の導入は現在検討してはいないが、地球環境に優しいというメリットもあり検討の余地はあると考える。国の補助事業では、LED照明導入促進事業がある。リースの活用もメリットがあり、調査を進めたい。

問

2棟80戸の本宮兼谷平、1棟40戸の白沢小田部の雇用促進住宅について、平成20年に譲渡の話があった。本市は定住促進を進めており、本宮宿舎、白沢宿舎それぞれを再利用するべきと考えるが、譲渡の是非の状況は。

雇用促進住宅再利用の考えは  
白沢宿舎は購入する考えである

答

本宮宿舎は施設の老朽化や今後の施設の維持管理、経費負担等が困難であり、購入はできない。白沢宿舎は、価格によっては購入の余地があり、昨年評価鑑定を行い、土地・建物含めた譲渡価格が示され、購入の方向で進めたい。

#### その他の質問

- ・見守り隊について
- ・企業誘致について

ESCO事業…事業者が省エネルギー改修を行い、それにより削減された費用の中から事業者の利益と経費を賄う事業。

# 声



岩根小学校6年生の47名が傍聴に訪れました。児童たちは緊張した表情で一般質問に耳を傾けていました。その中から2名の方に傍聴の感想をお聞きしました。

3月13日、6年生で市役所に市議会見学に行きました。いつも私たちは市役所を使っているけれど、3階にあんな場所があるとは思いませんでした。とても緊張感のある話し合いで、びっくりしました。30分も話し合っなんてすごいと思いました。積極的に発言をしていたのが印象に残っています。私も議員さんを見習ってこれからの授業で、積極的に発表したいと思います。私たちが岩根小の体育館についても話し合ってくれてありがとうございました。おかげで素敵な卒業式が迎えられます。下級生たちにもたくさん体育館で元気に体を動かしてほしいと思います。これからも本宮市をもっと良くするために頑張ってください。よろしくお願ひします。この間は本当にありがとうございました。勉強になりました。

会田 妃那 さん

3月13日、岩根小学校6年生は、本宮の市議会を見学させていただきました。小学校からバスで出発し、市役所に来ました。そこから歩いて役所の議場まで行きました。僕たちは議場の傍聴席から議会を見させていただきました。議会は11番の渡辺秀雄さんと建設部長が話をしていました。他にもいろいろな方々がおられ、その様子を見ていました。いろいろな質問をして、それを返答したりして、そのことを議長が進めていました。そして30分がたち、議会が終わりました。今回は、本宮市の議会を見せていただきました。普段、議員の皆さんがどんな議会をしているか、いろいろなことがわかりました。本宮の市民の人々のために、いろいろな役に立つことを考えてくださり、ありがとうございました。今日はありがとうございました。

齋藤 健人 さん

中学校でのさらなる活躍を期待しています！



## 市議会を傍聴しました。 (岩根小学校6年生の皆さん)

次回6月定例議会は6月9日に開会予定です。請願・陳情の締め切りは5月28日です。

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。  
問い合わせ TEL 24-5435 (直通)

### あ と が き

春は卒業式や入学式、さらには就職と希望が膨らむ季節であり、議員にとっても3月議会は新年度予算を決定する大事な議会でもあります。新年度一般会計予算総額は325億円ですが、県からの除染対策補助金197億円を差し引くと正味約128億円であります。しかし27年度から国の交付金(税)が毎年減額され、22年度は22年度比11億3千万円まで減額されると推計され、厳しい財政となることが推測されます。今後は身の丈以上の箱物建設は自粛し、その分を福祉向上のために回さなければならぬのではないのでしょうか。

(国分)

発行責任者

議長 國分義之

広報特別委員会

委員長 後藤省一

副委員長 次藤 栄

委員 菊田広嗣

委員 菅野健治

委員 橋本善壽

委員 遠藤孝夫

委員 國分勝広

委員 川名正勝

発行 本宮市議会

編集 広報特別委員会

〒969-1192

福島県本宮市本宮字万世2-1-2

TEL (0243) 24-5435 (直通)  
FAX (0243) 34-3138

〈再生紙使用〉